

【室蘭線の旅 モデルプラン】

JR 室蘭線で行く 日本遺産「炭鉄港」に ふれる早来かしわ会岩見沢旅行

9時 早来駅出発



点呼時は小雨がぱらついていましたが、列車に乗るとその雨も止み、約1時間の鉄道旅がスタート。なかには、「列車に乗るなんて何十年ぶりだろうか」と童心に戻り、ワクワクしながら列車の到着を待っていた方も。車窓からの景色を楽しみつつ、皆さんの近況などを話していると、あっという間に岩見沢駅に到着しました。



10時1分 岩見沢駅到着

10時5分 記念撮影、簡単駅ガイド①

岩見沢駅の改札では、この日ガイドを務めていただく NPO 法人「炭鉱の記憶推進事業団」の理事長・平野さんがお迎えに来てくださっていました。

今回の旅に合わせ、作っていただいた横断幕を持って早速記念撮影。青空のもと、まずは駅ガイドからスタート！

岩見沢駅の駅舎は、平成12年に火災によって消失。現在の駅舎は平成21年に建てられた4代目のもの。窓枠には線路のレールが232本使われているそう。外壁のレンガには寄付者の名前や住所などが刻まれていて、地元の方だけでなく、全国各地からの応援で再建されているのがわかります。

